

STOP!!

一斉帰宅



大規模な地震が発生した時は
“むやみに移動を開始しないこと”

二次災害

- 落下物・落雪
- 走行車両との接触
- ブロック塀倒壊
- 集団転倒 など

災害発生直後の帰宅行動は、
二次災害に遭う危険性があります。

運行停止

- 航空機
- J R
- 地下鉄
- 市電・バス など

交通機関は、緊急点検などによって
運行停止や遅延などが発生する可能性があります。

大渋滞

- 道路被害の発生
- 通行止め
- 緊急車両の妨げ
- 立往生 など

緊急車両が通行できなくなると
救命・救助活動の妨げになるおそれがあります。

“むやみに移動を開始しないこと”

① 帰宅は慎重に

二次災害

- ◆ 屋外では建物からの落下物や落雪、走行車両との接触、建物やブロック塀の倒壊など、二次災害に遭う危険性があります。

運行停止

- ◆ 大規模な地震が発生した時などは交通機関の運行停止や遅延に伴い、駅周辺に大勢の人が滞留し、集団転倒などにより負傷する可能性があります。

大渋滞

- ◆ 多くの人が車両で避難することで渋滞が発生し、緊急車両が通行できなくなるなど、救命救助活動の妨げになるおそれがあります。



② 従業員は一旦職場に待機

- ◆ 施設の安全が確認できれば、職場に待機するようにし、従業員が職場にとどまれるよう、待機場所や必要なものを準備しましょう。
- ◆ 周囲の状況が落ち着き、道路状況などの安全が確認できた後に、帰宅について慎重に検討するようにしましょう。

【待機場所の運営に必要なもの】

毛布、簡易トイレ、床に敷くマット、段ボール、照明、ホワイトボード、飲料水、食料 など

【品川駅の様子（出典：東京都帰宅困難者対策ハンドブック）】



平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、首都圏においては鉄道の多くが運行を停止するとともに、道路では大規模な渋滞が発生するなど、公共交通機関の運行に支障が生じました。

③ 安否確認・情報収集

- ◆ 災害発生時は、電話を使用する人が殺到し、被災地域では電話がつながりにくくなる可能性があります。
- ◆ 職場への連絡手段、家族との安否確認手段等をあらかじめ決めておくことが、災害発生時は重要となります。



<WEB171>

災害用の連絡方法にはWEB版もあります。

詳しくは下記コードから

< 災害用伝言ダイヤル >

「171」をダイヤル

録音「1」

再生「2」

連絡を取りたい人の
自宅や携帯電話の番号を入力

伝言を録音

伝言を再生

【詳しくは札幌市公式HP等へ】

“一斉帰宅抑制HP” “企業防災のすすめ”

“WEB171”



札幌市危機管理局

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
TEL：011-211-3062

令和6年9月発行



さっぽろ市
02-N02-23-1497
R5-2-1012